

(臨床研究に関する公開情報)

岡崎市民病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

当院の肥満症患者における肥満症治療薬セマグルチドの有効性の検討

[研究責任者]

滝啓吾

[研究の背景]

肥満とは脂肪組織に脂肪が過剰に蓄積した状態で、体格指数(BMI25 以上)で定義されます。肥満は 2 型糖尿病、脂質異常症、高血圧、脳卒中、冠動脈疾患などの様々な健康障害の発症と関連しています。肥満症とは、肥満に肥満と関連する健康障害を合併して医学的に減量を必要とする状態とされており、減量により健康障害の発症を予防するとともに、すでに発症した健康障害を改善する必要があります。肥満症治療では食事療法、運動療法、行動療法、薬物療法、手術療法がありますが、薬物療法において 2024 年 2 月に新規の肥満症治療薬として肥満症治療薬セマグルチド(ウゴビー®)が**使用可能となりました**。肥満症治療薬セマグルチドは週 1 回の投与を行う長時間作用型 GLP-1 (グルカゴン様ペプチド 1) 受容体作動薬で、脳の摂食を調整する機構に作用することで食欲が低下して、体重減少をきたします。従来の薬物療法と比較して体重減少効果、副作用および使用期間の点で、肥満症治療において期待できる可能性がある薬剤です。

[研究の目的]

当院の肥満症患者さんにおける肥満症治療薬セマグルチドの有効性を検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当院かかりつけの糖尿病の患者さんで肥満症と診断されており、西暦 2024 年 2 月 1 日から西暦 2026 年 **5月8 日**の間に当科を受診され、肥満治療薬セマグルチドを 1 年以上使用している患者さん。

●研究期間：西暦 2024 年 2 月 1 日から西暦 2026 年 10 月 4 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：通常の診療で使用した検査結果を使用し、研究のためだけの検査は行いません。

カルテ情報：

診断名、年齢、性別、既往歴、肥満症治療薬セマグルチド使用容量、身長体重、BMI、ウエスト周囲長、血液検査結果（HbA1c、TG、HDL-C、LDL-C、eGFR、CK、AST、ALT、血液検査結果より計算される肝臓線維化マーカーである FIB-4index、APRI 等）。

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

岡崎市民病院

444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1

*当院の責任者の所属部署、滝啓吾

電話 0564-21-8111 FAX 0564-25-2913